

令和 7 年 11 月 27 日

学校関係者評価委員会

文部科学省認定、職業実践専門課程

令和 7 年度学校関係者評価委員会 履正社新館 8-1 教室

日 時：令和 7 年 11 月 27 日 14：00～

参加者

評議員：安村亮、萩原嘉彦、野柳俊英、川上晃司、日根弘智、清行康邦(欠席)（敬称略）

教職員：池尾、田中、大江、西村、木下、辻井、谷村、照屋（敬称略）

書 記：照屋

令和 6 年度の自己点検・自己評価報告書に基づき、各項目を確認して次の通り評価した。

学校長挨拶

専門学校は学校教育法の一部改訂により、令和 8 年 4 月より単位制への切り替えを進めている。12 月に書類を提出となる。今、準備段階である。学校の第 3 者評価を義務づけになる。この学校は職業実践専門課程の認可校となっているため、この学校関係者評価がしばらくの間、自己点検評価ということになる。先生方には引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

進行)早速ですが、本学校法人が運営している 2 校に関しての自己点検・評価についての審議と修正やご提案をいただきたいと思います。

1) 議長選出

ご出席いただいている委員の先生方の互選により、議長と議事録確認者をお決めいただき、議事進行をお願いする事となっております。進行者一任として、ラックヘルスケアの安村亮先生をご推薦いたします。

議長) 先生方のご協力を得て、円滑に進行をさせていただきたく存じます。まず、議事録確認者の選定について、ご意見を伺います。もしなければ、私の方からご指名させていただきたく存じます。よろしいでしょうか。

2) 議事確認者選出

議長) 株式会社ハギーコーポレーションの萩原嘉彦先生にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。→ 決定

3) 自己点検・自己評価の承認

議長) 本題に入ります。ご用意されている自己点検・自己評価シートに基づいて進めていきたいと存じます。この各項目審議につきまして皆様と一緒にコメントや評価の修正審議を行って参ります。昨年度に評価をいただいた評価シートをもとに本年度の評価を御校の方でされているものとなります。まずは池尾学校長より全体の評価・感想をいただきたいと存じます。

4月の1日から自己点検・自己評価の準備委員を立ち上げた。時折、会議を繰り返しながらその評価シートを完成させている。本コースには10コースあるため、それぞれ10コースの部署で自己点検をしてもらっていた。その各コースから上がってきたものを準備委員会のほうで再点検をして、間違いなど修正してまとめたものがお手元にある資料である。基本的には大きな変化はないが、今回は少し厳格に評価した。全体的に両校とも95%以上の項目でB以上を確認している。なかでも、C評価につきまして今後検討を加えながら改善する方向へまとめ上げていきたいと考えている。今回はそれらのことについてご質問をいただき、その回答を含め対応していくため、どうぞよろしくお願いいたします。

議長) それでは、まず「履正社国際医療スポーツ専門学校」から審議を始めていきたいと思います。それぞれの点検・評価表をご覧ください、評価A～Dの4評価に加えてコメントの記載がございます。項目ごとに皆さんの意見をいただき、審議・修正していきたいと考えています。C評価につきましては御校からご説明いただき、また、昨年度から評価が下がっている項目につきましては、その過程含めてご説明いただきたいと存じます。

1-1～1-3までご確認ください、何か疑問点やご意見などございましたらご発言願います。→ A評価なので問題なし。

2つ目2-4～2-9まで、何か疑問点などあるようでしたら、ご発言願います。

委員) Cはあってもよいのか

対応しなくてはならない。要改善という意味です。

委員) 2個あっても大丈夫なのか。

前向きに改善していくということで、あったらダメということではない。

委員) 2-6の説明をおねがいします。

以前はBであったものがCという評価にした。現理事長が昔は学校長も兼任していた。学校運営の決定権は学校長となっているため、よっぽどのことがない限り、意見が変わることはない。決定しなくてはならない内容によっては、線引きが難しい項目があるのが実情である。B評価でも良いかとは考えたが、理事長と学校長の決定権を明確にすることができないので、改善するという意味を込めて今回の評価にしたところである。

委員) 本来ならば、昨年度もCになるはず。本来ならば昨年度も体制は変わっていないので評価は同様のBで良いにも関わらず、見方を厳格にしたために評価を下げたという認識でよいのか。

この内容を改善するという意味で、今年については厳しい目に評価した。

委員) 以前より体制を理解している者からしては、この評価でいいと考えるが、知らない者にとっては「評価が下がる」という内容は世間的に誤解を生むものとなるのではないのか。

校舎が変わって運営や管理の内容が変化する場面が多くなったことが今回の評価とした理由の一つです。

委員) 理事長が意見を出すのはいけないのか。理事長は管理者ではないのか。

学校法人の理事長なので、全体の学校運営にはかかわる人物なので意見を言うことには特に問題はないが、今回は「効率良く」に注目して評価した。

委員) そういうことなら、改善をするという理解があるということにより「C→B」で問題ないと考えます。

議長) それでは、この会議といまの議論からB評価にします。学校側が厳しい評価として「C評価」にしていたが、外部委員からの評価としては「B評価」にしてもよいと考えます。→問題なし。B評価に修正。

続きまして、同様にC評価になっている2-7に関してはいかがですか。

人事権が幅広くなり、法人本部に「人事部」ができたため、決定権が学校長から法人本部側に採択権が移った。そういう視点からB→C評価とした。

委員) そういう背景があるのなら、今後の改善ができないと考えられる。どのように改善する予定なのか。

どのような形にすればいいのか考え中である。昨年の4月から中・高校側も人事権の内容が「人事部」がとなった。それは専門学校も同様である。この内容から、学校主体としての判断になるので今回はCにした。

委員) 学校側での決まりであるので、文科省の決まりだけでは対応・改善できないことも出てくると考える。組織体の中での関係性があり、その中で正しく意見交換ができる環境があるのなら、今回の評価の仕方を再検討すればいいと思う。

他校によると、他校は学校長が人事決定している。本校はそのような組織づくりになっていないのが実情である。なので、学校運営としては正直な評価をしたと考えている。

このような組織体になっている学校はあまりなく、知っている限りでは大阪で2校ほどしかない。実際の基準が不明な状況である。今後どのように改善していくのかを模索していかななくてはならない。ただし、本部が決めたことを鵜呑みにしているのではなく、本部は学校長の意見を汲み取りながら進めている実情はある。

委員) 理事長と校長がそれぞれ意見を出している方が民主的な感じはする。

議長) このような組織体になっている学校が少ないのであれば、逆に御校がロールモデルとして運営できるというアピールができれば、次年度はBやAとしてもいいと考える。一般企業の組織体を考えると、御校の組織体は普通のことだと考える。そのことを踏まえると「評価制度が整備されていない」と言われるとそうではないと評価する。整備が制度として考えられるのなら、御校も十分に整備されていると考える。それらのことから、次年度はB以上にむけて、取り組んでいただくということにしたい。この項目についてその他ご意見があればお伺いいたします。→なし。

続きまして、3-10~3-17 まではいかがでしょう。

委員) 単位制とは必須単位というのがあって、他にも選択単位がある仕組みなのか。

医療課程は厚生労働省の指定規則となっている。そのため、ほぼカリキュラム通りの習得になっている。

委員) 学ぶ量は同じと考えていいのか。

はい。その通りです。今までの単位習得と変わりありません。大学と同じで1年間で31単位以上の履修となっている。3年間だと93単位となる。

委員) 学生がそれぞれ選ぶことができるという訳ではないということか。

はい。選べません。

議長) 3-15 の評価が下がったということで、説明お願いいたします。

理療法学科の中で以前に比べて教員要件が厳しくなった。高度専門士がとれる学校として、大学と同じ学位に匹敵するものとして、教員要件の資質が問われるように

なってきた。論文や学会やその他の要件を満たしていない教員が一定数いるため、
A→B とした。

議長)わかりました。次の4項目のご確認をお願いします。この項目に関してはすべて
A となっているので問題ないかと存じます。

つづきまして、学生支援の項目の確認をお願いいたします。問題ないようなので
次に移ります。教育環境についてご審議をお願いします。

低下している項目の説明をします。新校舎の方は問題ないのですが、以前までの
校舎(本館)は修繕・改善作業を進めているところを考えると評価を下げた。6-32
も同様に、雨漏りがみられたための修繕工事を進めている。そのこともあり評価
をこのようにした。この工事が完成すれば次年度の評価は「A」にできると期待し
ている。

議長)学生の受け入れ・教育環境に関しての項目についてご確認ください。こちらも問
題ないので次に進みます。

財務に関して、8-37 から 40 までご審議をお願いします。

委員)評価とは関係ないのですが、財務の中での項目としてもないが、学生募集に関し
てはいかがですか？

鍼灸・柔整学科ほぼ充足するかと思いますが、理学療法学科については校舎環境
により定員を増やしたため、一部充足しないかもしれない。しかし、昨年並み
には集まると期待している。新校舎になったから極端に募集が増えたということ
にはなっていない。医療課程の方は大阪において、学校の数が多いということも
あり、どこの学校も定員割れを起こしているのが現状のようです。少子化の影響が
関係しているかもしれない。

議長)次の項目ですが、法令等の遵守についてご審議をお願いいたします。昨年度は始め
たばかりで追いついていない部分もあり C が多かったが、改善しているような
ので問題ないと思います。次の項目についても問題ないと考えます。

それでは、これにて「履正社国際医療スポーツ専門学校」の方の点検評価は終
了となります。

つづいて、「北大阪校」になります。ご審議のほどをお願いします。

初めの項目においてよろしくをお願いいたします。問題なようなので、続いて基
準 2 についてご審議をお願いいたします。

2-6、2-7 に関しても、国際医療専門学校と同様の問題であるので C→B に修
正させていただきたい。

議長)問題ありません。修正します。2は以上です。続いて3項目お願いいたします。

委員)3-12です。十三校の方はB→Aにしているが、北大阪校はいかがでしょう。

北大阪校は、カリキュラムに関しては単位制になるタイミングで、カリキュラムの精査・確認をおこなった。以前までは3コース合同のカリキュラムであったが、それぞれにカリキュラム内容を分けて再構成する段階であり、それぞれを正しく整理する段階だったため、このような評価になった。

委員)現状、改善しているところですね。

体制として競技の学生は2年目から医療やアスレティックトレーナーなどWスクールに進む学生もいるため、カリキュラム内容を判断するのに苦慮している段階であった。

議長)その他ありますか。問題なさそうなので基準4に移ります。問題なさそうです。

5項目に移ります。問題ありません。教育環境についてご確認お願い致します。

問題なしなので、項目7へ移ります。問題なさそうなので8へ移ります。問題なさそうなので、9の確認をお願いいたします。先ほどと同様問題ないため10へ移ります。問題なしとします。北大阪校に関しても問題なく承認できました。

先生方に評価していただきましたが、2-6に関してCをBにさせていただきます。どうもありがとうございました